

# 「森林・林業経営高度化プラン」

## ＜森林組合等の育成と府内産木材の需要拡大＞

【担当部課】 農林水産部 林務課

### 問題意識

#### 1 プラン策定の趣旨

京都は神社仏閣から数寄屋建築、京町家など木の文化が息づき、良質な木材を求める京都ならではの需要が現在でもあり、さらには、大量に木材を利用する合板工場が立地するなど、恵まれた環境にあります。

京都府の人工林面積の約7割が利用可能な45年生以上となり、育てる時代から利用する時代となっている今、森林資源の循環利用を推進するためには、こうした木材需要を活かした府内産木材の利用拡大を通じ、森林整備を推進していくことが重要となっています。

こうした中、京町家、和風建築などの多品種、良質な木材需要に対応し、きめ細かな供給ができる京都らしい分業体制の確立、品揃え（柱材、板材、内装材 等）や品質、短い納期等に対応できる加工体制の強化、さらには、まとまった量の木材を安定的・定量的に供給できる体制の整備、小規模、分散した木材生産の現場での効率的な森林施業などが課題となっています。

本プランは、木材の循環利用を通じて、収益の確保による持続的な森林整備を進めるため、木材の生産性の向上から、流通の合理化、加工体制の強化など、川上から川下に至るまでの課題を解決する総合的な施策を取りまとめたものです。

#### 2 現 状 と 課 題

##### (1) 森林整備を担う林業事業者について

###### 【現 状】

- ・森林施業が小規模に分散し、機械化も遅れており効率的な生産が難しい。
- ・森林林業の担い手が減少する中、施業を担う林業事業者の育成が遅れている。

###### 【課 題】

- 森林施業の広域化や高性能林業機械の活用による低コスト林業の実践
- 安定した事業の確保による意欲ある林業事業者の育成

##### (2) 府内産木材の流通と加工体制について

###### 【現 状】

- ・府内産木材(原木)が小規模、散発的に市場等へ出荷されるため、仕分けや搬送経費の負担が大きく、また、まとまった量の集積がないため、需要に即応できない。
- ・製材などの木材加工体制が小規模、零細で、品揃えや品質、短い納期等への対応が難しく、市場ニーズに応えられていない。

###### 【課 題】

- 年間をとおし、まとまった量の間伐材を合板工場等に安定して定量的に供給できる体制の確立
- 建築需要にしっかり対応できる府内産木材(原木)の安定した供給体制の確立
- 小規模な製材体制の中で、連携して多様な需要に即応できる京都らしい分業体制の確立

### (3) 北山林業について

#### 【現 状】

- ・生活様式の変化や住宅着工戸数の減少などにより、北山丸太の需要が減少する中、北山ブランドにふさわしい生産体制の維持が難しくなっている。

#### 【課 題】

- 伝統的な日本建築に欠くことのできない高品質な北山丸太の生産の継続
- 北山ブランドの発信による幅広い需要の拡大

### 新規施策(制度)で達成したい具体的な目標

#### (1) 森林施業の広域化、機械化による新規就業者の受け皿にもなる意欲ある林業事業体の育成と森林・林業経営の近代化

森林施業の広域化と機械化によって合理化を図るとともに、川上側が一体となって取り組むことにより、収益が森林所有者に還元される仕組みづくりを進めます。

- ・市町村の範囲を超えた森林施業の広域化と併せて、地域の林業事業体を育成します。
- ・高性能林業機械の導入を進め、環境にも配慮した低コスト林業を推進します。

⇒ 認定事業体(意欲ある林業事業体)の倍増

#### (2) 原木の集出荷体制一本化と木材加工のネットワーク化、拠点整備による新たなサプライチェーンの構築

府内産木材(原木)の安定した供給と、品揃えや品質、短い納期等に対応できる製材、乾燥など加工体制を確立します。

- ・間伐材の集出荷体制の一本化による合板工場等への安定供給体制を強化します。
- ・建築需要にしっかり対応できる安定供給体制を確立します。
- ・木材加工における得意分野を活かした連携により、少量でも多品種で良質な木材を供給できる京都らしい分業体制を構築します。
- ・府内産木材(原木・製材品 等)の需要拡大のための相談や府内産木材の展示・PR、木材利用の意義など情報発信、木材利用を提案できる建築士等の育成を推進します。

⇒ 府内産木材需要量の5割増

#### (3) 北山丸太の需要拡大と海外輸出による北山林業の活性化

伝統的な日本建築に必要な不可欠な素材である品質の高い北山丸太をしっかりと供給できる環境づくりを進めます。

- ・幅広く木と住まいの関わりなどの教育活動を展開する中で、北山丸太の文化的価値の発信や北山丸太の需要の維持・拡大を図ります。
- ・北山丸太と日本文化に関心の高い海外の消費者を対象として、北山丸太の工芸的価値等の情報発信を強化します。
- ・北山丸太の新たな用途開発や工芸品的な利用法(家具、内装、照明 等)の開発を推進します。

⇒ 北山丸太販売量の5割増(3.5万本→5万本)

## 新規施策(制度)のスキーム

### 1 林業事業体の経営高度化

#### (1) 林業経営高度化センターの設置を支援します。

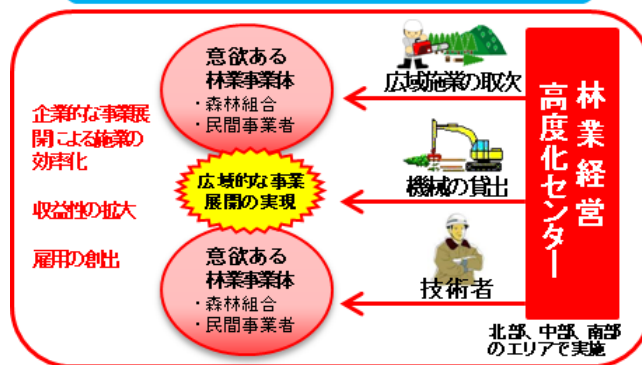
【顧客】 森林所有者、良好な住環境を求める府民 等

【実施主体】 森林組合、林業事業体

【ニーズ】 森林施業による収益が森林所有者に還元され、森林経営が成り立つことが必要

- ▶ 林業事業体により効率的で低コストに森林施業を進めるため、高性能林業機械を一括してメーカーからレンタルし、安価に林業事業体に貸し出す『森林経営高度化センター』の設置を支援
  - ・林業事業体は受託した森林施業、保有する機械の稼働状況、現場技能者(オペレーター)、作業班の状況をセンターに登録
  - ・センターが林業機械の稼働状況や森林施業等をマッチングすることで、森林組合が能力的に対応できない施業を民間事業体に紹介し、待機中の林業機械や現場技能者を効率的に配置・運用

#### 市町村を越えた森林施業の広域化・機械化による 林業事業体の育成、施業の低コスト化



#### <留意すべき点>

○府内産木材を循環利用し、森林整備につなげていくことが重要(検討委員意見)

### 2 府内産木材サプライチェーンの構築

#### (1) 府内産木材安定供給システムの整備を支援します。

【顧客】 府内産木材で建築を希望する府民、企業・事業所、京町家や和風建築を施工する工務店・設計事務所、合板工場、チップ工場 等

【実施主体】 京都府森林組合連合会、京都府木材組合連合会、森林組合、木材市場関係者

【ニーズ】 府内産木材(原木)のまとまった量での安定した供給が必要

- ▶ 府内産木材(原木)の安定的・定量的な集出荷のため、森林施業の実施状況の一元管理と原木素材の仕分け(住宅、合板、チップ用 等)を行う『原木供給センター』の設置を支援
- ▶ 府内産木材(原木)を効率的に流通させるため、集出荷体制を一元化し、ストックヤードや原木の選別、運搬車への積込みに必要な機械等の整備を支援

## (2) 木材加工のネットワーク化と拠点施設の整備を支援します。

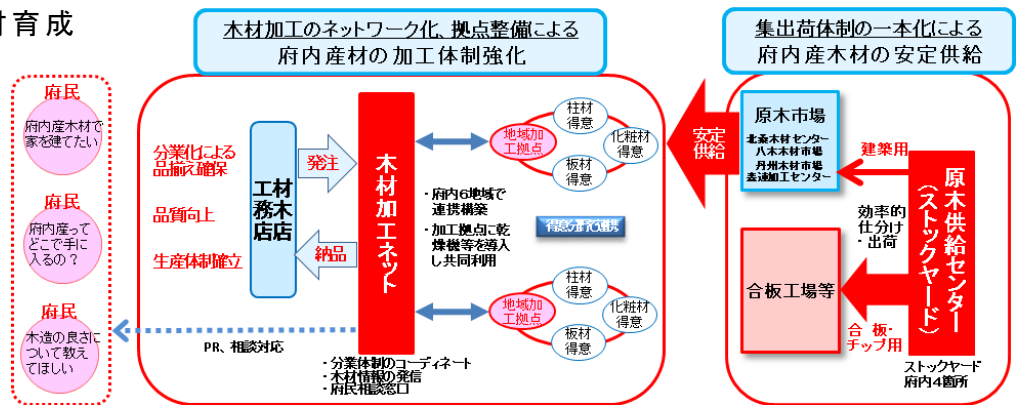
【顧客】 府内産木材で建築を希望する府民、企業・事業所、京町家や和風建築を施工する工務店・設計事務所 等

【実施主体】 京都府木材組合連合会、加工製材業者

【ニーズ】 乾燥など品質が高く多様な府内産木材製品の即納体制が必要

- ▶ 工務店等からの短期間での品揃えなど即納できる体制を整備するため、製材工場の得意分野（柱材、板材、化粧材 等）を活かし、少量でも、多品種で良質な木材を供給できるきめ細かな京都らしい分業体制の確立を支援
  - ・分業体制をコーディネートする『木材加工ネット』を設置し、材木店や工務店等との連携により、『木材コーディネーター』が府内産木材に関する情報の発信や府民からの問い合わせに対応
- ▶ 含水率が低いなど品質の高い木製品を供給するため、地域の加工拠点に人工乾燥機などの加工製材施設等の整備を支援するとともに、府内産木材の展示や環境にやさしい京都の木の家づくり支援事業（緑の交付金）の推進と併せて府内産木材の利用を拡大

- ▶ 木材利用を提案できる設計士、建築家等を育成するため、木材業界、建築業界が教育機関と連携した人材育成講座の開設を支援



## 3 北山林業の活性化

### (1) 北山ブランドの発信を支援します。

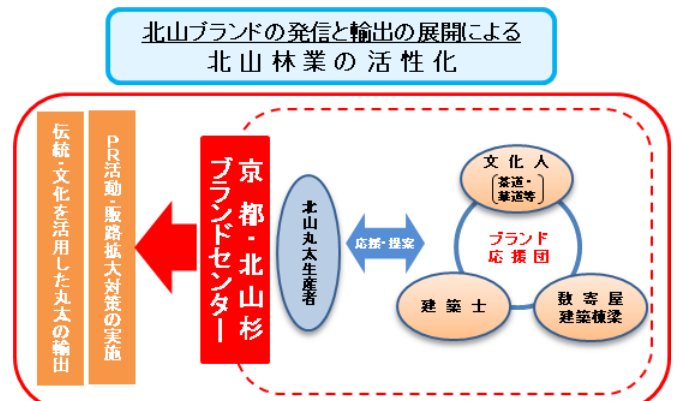
【顧客】 伝統的な和室や和の伝統・文化などを求める幅広い消費者 等

【実施主体】 北山林業・北山丸太関係者

【ニーズ】 伝統的な日本建築に必要な不可欠な素材であり、品質の高い北山丸太の供給が必要

- ▶ 伝統的な日本建築での需要堅持と販路拡大のため、北山丸太関係者だけでなく数寄屋建築棟梁、建築士、文化人（茶道など）等の参画を得た『京都・北山杉ブランドセンター』を設置し、伝統技術や文化、それを生かした観光資源と一体となった戦略的なPR活動を支援

- ・若手建築士、デザイナー等とのタイアップによる新たな用途開発や工芸的な利用法（家具、内装、照明 等）の検討
- ・北山丸太の日本建築における文化的価値等を広く府民・国民へ発信（シンポジウム、観光業界と連携した現地見学ツアー 等）
- ・次代を担う子どもたちが伝統的な和室を体感できる住育活動を展開
- ・大学や建築専門学校等との連携による講座を開設



## **(2) 北山丸太の海外輸出の展開を支援します。**

【顧客】 海外の消費者

【実施主体】 北山林業・北山丸太関係者

【ニーズ】 茶道・華道など日本を代表する文化と一体的に北山丸太を紹介してほしい

- ▶ 海外輸出の第一歩として、和室等に関心の高まっている中国において、日本の伝統・文化と一体的なPRやブランド産地に直接触れていただける海外バイヤーの招へい等の商談活動など輸出の取組を総合的に支援
- ▶ 英語版・フランス語版・中国語版などの質の高いホームページ作成による情報発信を支援
- ▶ 家具デザイナー等とのタイアップにより、海外にも通用する工芸品(家具、内装、照明 等)の開発と海外展開を支援

### **<留意すべき点>**

- 北山林業を継続していくためには、森林資源・人的資源などを見極め、需給とのバランスを考慮した適正規模での丸太生産が必要(検討委員意見)
- 北山丸太独特の伝統技術を継承し、技術者を育成できるようサポートが必要(検討委員会意見)

工程表(ロードマップ)、必要な資源(人員体制、予算、その他)

| 年 度    | 林業事業体の経営高度化  | 府内産木材サプライチェーンの構築  | 北山林業の活性化  |
|--------|--|---|---|
| 24年度   | (1) 森林経営高度化センターの設置<br>→高性能林業機械のリースや、森林施業、人材をマッチング<br>(マッチング 10~20 件) | (1) 原木供給センターの設置<br>→原木集出荷体制の一本化<br>(1) スtockヤード等の整備<br>→1ヶ所で機械施設を整備<br><br>(2) 木材加工ネットの設置<br>→木材コーディネーターを配置し、6地域で分業体制を確立<br>府内産木材展示場を整備<br><br>(2) 地域加工拠点の整備<br>→1ヶ所で乾燥施設等を整備 | (1) ブランドセンターの設置<br>→PR、住育活動を実施<br><br>(2) 北山丸太の輸出<br>→バイヤー招へい・PR活動(ブランドストーリーの展開)                      |
| 25年度   | (1) 森林経営高度化センターの運営<br>→高性能林業機械のリースや、森林施業、人材をマッチング<br>(マッチング 20~40 件) | (1) 原木供給センターの運営<br>→原木の需給調整や在庫管理により効率的に供給<br>(1) スtockヤード等の整備<br>→3ヶ所で機械施設を整備<br><br>(2) 木材加工ネットの運営<br>→木材コーディネーターが受注調整や情報を発信<br><br>(2) 地域加工拠点の整備<br>→5ヶ所で乾燥施設等を整備           | (1) ブランドセンターの運営<br>→PR、住育活動を実施<br><br>(2) 北山丸太の輸出<br>→商談・PR活動(現地施工箇所のPR、代理店の確保)、デザイナーとのタイアップによる工芸品の開発 |
| 26年度以降 | (1) 森林経営高度化センターの運営<br>→高性能林業機械のリースや、森林施業、人材をマッチング<br>(マッチング 40~60 件) | (1) 原木供給センターの運営<br>→原木の需給調整や在庫管理により効率的に供給<br><br>(2) 木材加工ネットの運営<br>→木材コーディネーターが受注調整や情報を発信   | (1) ブランドセンターの運営<br>→PR、住育活動を実施<br><br>(2) 北山丸太の輸出<br>→商談・PR活動(本格的な輸出展開)、開発した工芸品のPR・海外展開               |

## その他関連情報

### 1 「森林・林業経営高度化プラン」検討委員会のメンバー

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 青合 幹夫  | 京都府森林組合連合会 代表理事専務               |
| 石田 一雄  | 京都府内産木材認証運営協議会 理事               |
| 伊東 宏一  | (社)京都府木材組合連合会 副会長               |
| 栗山 裕子  | (社)京都府建築士会 理事                   |
| 小島 富佐江 | 特定非営利活動法人 京町家再生研究会 理事・事務局長      |
| 田中 和博  | 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授・研究科長     |
| 檜崎 達也  | 住友林業(株) 山林環境本部 山林部 企画グループマネージャー |
| 長谷川 尚史 | 京都大学フィールド科学教育研究センター 准教授・芦生研究林長  |
| 水谷 潤   | 大和ハウス工業(株) 生産購買本部 海外調達グループ長     |

(50音順・敬称略)

### 2 「森林・林業経営高度化プラン」検討委員会の開催状況

|         |                            |
|---------|----------------------------|
| 第1回検討会議 | 平成23年7月8日                  |
| 第2回検討会議 | 平成23年8月5日(現地開催:京都市北区雲ヶ畑地内) |
| 第3回検討会議 | 平成23年8月29日                 |
| 第4回検討会議 | 平成23年9月13日                 |
| 第5回検討会議 | 平成23年11月8日                 |